

第51回東海ジュニア体操競技選手権大会 新型コロナウイルス対策について

下記事項を確認し、感染防止に努めてください。

全般

- ① 入館について、選手・監督・撮影者は2階出入口を利用すること。また、役員・審判については、1階出入口を利用すること。
- ② 会場に入る際、選手・指導者・ビデオ撮影者等は健康チェックカードを受付に提出すること。
(健康チェックカードは岐阜県体操協会ホームページからダウンロードし必要事項を記入のうえ大会前週2間分の健康チェックを行うこと)
- ③ 入館する際は検温、手指の消毒を行い会場に入ること。(検温にて37.5℃以上の発熱、37.5℃以下でも倦怠感等の風邪の類似症状がある場合は入館を認めない)
- ④ 選手・指導者・ビデオ撮影者・役員・審判には、マスクの着用を義務付ける。
(選手については、競技場内での練習時や演技時はマスクを外してよい)
- ⑤ 選手に帯同するコーチは、事前に各県事務局から申請の者のみとする。
- ⑥ 選手権は無観客で行う。ただし、各クラブ1名(男女で参加する場合は2名)のビデオ撮影者の入館は認める。
(ビデオ撮影者の変更等の可能性がある場合は、変更の可能性のある全ての者の健康チェックを行っておくこと)
- ⑦ 選手権の運営については最小限の役員で行う。
- ⑧ ビデオ撮影者は、撮影者同士で一定の距離を保ちながら撮影すること。
- ⑨ 更衣室を利用する際は、密にならないよう配慮し使用すること。
- ⑩ 入館者は、持ち込み品を持ち帰り、その衛生管理を徹底すること。
- ⑪ 参加選手とその保護者・コーチは、選手権に参加する前に自身の体調がよくないと感じた場合、あるいは感染者やその疑いのある者との濃厚接触が疑われる場合、速やかに岐阜県体操協会事務局に届け出て指示に従うこと。
- ⑫ その他、選手権会場の「メモリアルセンターの感染予防対策」に従うこと。
(管理者の指示のもと感染予防に努めること)

競技中

- ① 各種目の開始の審判へのあいさつは、2メートル以上の距離をとり行うこと。終了後のあいさつは行わない。
- ② 大きな声での応援は行わない。
- ③ 演技前、演技後の選手の待機は、密にならないよう気をつけること。
- ④ 選手は、演技中・練習中以外はできる限りマスクを着用すること。
(熱中症への対応や演技直後等、その場の状況により外してもよい)
- ⑤ コーチ、審判は、マスクを着用すること。
- ⑥ タオルの共用や水分補給の共用などは行わない。
- ⑦ 炭酸マグネシウムは、開催県で準備いたしますが、心配な場合は各自で準備すること。

選手権終了後

- ① 選手権関係者(選手・指導者・ビデオ撮影者・役員・審判)は、選手権終了後2週間以内に新型コロナウイルスへの感染、または、その疑いがある場合は速やかに事務局に連絡すること。

その他

- ① 新型コロナウイルスに係る情報により、新たに取り入れるべき事柄があった場合は、主催者の指示に従い対応すること。